

新ニート対策開始

ぎふサポ 17日から 高校中退者を訪問

学校に行かず仕事に就かないニートの若者を減らすため、高校中退者の自宅などを専門の相談員が訪問して進路の個別相談に応じる「高校中退者等アウトリーチ(訪問支援)」事業が17日から県内でスタートする。厚労省と県の委託を受け、名古屋市のNPO法人「ICDS」が運営する「県若者サポートステーション」(愛称・ぎふサポ)が実施する。

山市で週一回、相談窓口を開設してきた。しかし、進路が決まらないうまま高校を中退してニート状態に陥る若者は減らず、多くは年齢を重ねても抜け出せない状態が続いている。このため、早期に働きかけることで、未然防止を図ることにした。

ICDSの専門スタッフ6人が、高校中退後1年未満か、在学中でも中退の可能性が高い生徒に自宅などで直接会い、進路や就職の相談に応じる。対象は県内全域で、相談は無料。申し込みは本人のほか、家族、教師でも

学校に行かず仕事に就かないニートの若者を減らすため、高校中退者の自宅などを専門の相談員が訪問して進路の個別相談に応じる「高校中退者等アウトリーチ(訪問支援)」事業が17日から県内でスタートする。厚労省と県の委託を受け、名古屋市のNPO法人「ICDS」が運営する「県若者サポートステーション」(愛称・ぎふサポ)が実施する。

今までより一歩進んだ取り組みとして注目を集めそうだ。ぎふサポはこれまで毎月一回、「出張セミナー」を開いたり、高

校側が不可欠になる。ぎふサポは、県内すべての高校を回って事業の趣旨を訴えることにしている。申し込み・問い合わせは、ぎふサポ(058・216・0125)。

存在を伝えるなど、高校側の協力が不可欠になる。ぎふサポは、県内すべての高校を回って事業の趣旨を訴えることにしている。申し込み・問い合わせは、ぎふサポ(058・216・0125)。

【山盛均】